

2022年11月18日

## 土木学会 舗装工学委員会 「橋面舗装小委員会」委員募集

舗装工学委員会では、以下の研究小委員会を新たに設置します。本小委員会に参加いただける方々を公募します。なお、本小委員会の活動のための旅費等は支給されません。

### 1. 委員会名称

橋面舗装小委員会

### 2. 目的

わが国の橋梁延長は、全道路延長の約1.1%に過ぎないが、高速自動車道や一般国道などの主要路線に占める割合は多い。このため、橋梁床版上の舗装（以下、橋面舗装という）の長期耐久性確保や適切な維持管理は重要な事項である。また、橋面舗装は、舗装基盤面が橋梁床版となり土工部舗装とは構造が異なる、床版や高欄などにより舗装が囲まれており雨水などが滞水しやすい、車両の走行位置が限定される、交通量が多いなど特殊な条件の下で、建設、維持管理が行われている。

このように橋面舗装は特殊な舗装で、主要路線に位置していることが多いことから、これに関する技術資料は必要である。しかし、橋面舗装全体を体系的に取りまとめたものは、1996年に「橋面舗装の設計と施工」が出版された後、25年以上新しいものは出されておらず、学会での研究活動もほとんどなされていない状況であった。この間、建設時や供用中に生じた課題などは、道路管理者などで個別に研究や検討がなされてきた。

このため、舗装材料小委員会のアスファルト混合物分科会の中に、「橋面舗装の材料分野に関する検討」を行う橋面舗装WGを立ち上げ、使用材料の変遷、現在使用されている材料、研究動向などについて、技術資料の取りまとめを行った。

一方、橋面舗装は、特殊な舗装であることから、材料に加えて、橋梁床版を含めた橋面舗装の構造と橋面舗装の設計・施工・維持管理までの技術や課題を調査し、体系的に技術資料として取りまとめることは、実務者からの要望も強く、必要かつ十分に価値があると考えられる。

そこで、標記小委員会を設立し、橋面舗装の設計・材料・施工・維持管理に関して、それぞれの分野の専門技術者が情報交換や議論を行いつつ、情報の収集整理と取りまとめなどを行い、橋面舗装を扱う実務者やこれから勉強する技術者を先導していくことを目的として活動する。

### 3. 活動内容（案）

本委員会における活動内容は以下のとおりである。

- ・橋面舗装の技術変遷に関する調査
- ・橋面舗装の設計から維持管理までに関する調査研究
- ・橋面舗装の新しい研究、検討に関する調査研究
- ・海外における橋面舗装技術の調査研究

### 4. 活動予定期間

2023年2月～2026年5月

### 5. 成果の公表

本小委員会の活動により得られた成果は、報告書（ライブラリー）としてとりまとめる

とともに、講習会等の開催により成果を会員ならびに社会に還元する予定である。

## 6. 委員構成

委員長：久利良夫（近畿大学非常勤講師）

幹事長：馬場弘毅（ニチレキ(株)）

委員：橋面舗装 WG メンバーおよび公募

## 7. 応募方法

橋面舗装小委員会への参加をご希望の方は、以下の事項を記載の上2023年1月27日(金)までに下記申込先まで“メール”にてお申込み下さい。

### (1) 記載事項

- ① 氏名，ふりがな
- ② 所属機関名，部署名，役職
- ③ 所属機関所在地
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 土木学会から委員就任委嘱状の要否

#### ※委嘱状について

- ・委員本人宛に郵送されます。
- ・「本人宛の委嘱状」＋「所属長宛での委員派遣依頼状」とすることも可能です。  
委嘱状に加えて、所属長宛の委員派遣依頼状が必要な方は、所属長の役職・氏名も併せてお知らせ下さい。（この場合も委員本人に郵送）
- ・委嘱状等が送付されるまでの流れとしては、「募集締切り→希望者のとりまとめ→作成（土木学会本部）→本人宛郵送」となります。  
お手元に届くまでには時間を要しますので、ご容赦願います。

### (2) 申込先，問い合わせ先

ニチレキ株式会社 技術研究所

馬場 弘毅（ばんば こうき）

TEL：0285-44-7111

E-mail：banba.k@nichireki.jp